

# 入学試験問題

## 数学(文科)

前

(配点 80 点)

平成 26 年 2 月 25 日 14 時—15 時 40 分

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 14 ページあります。落丁、乱丁または印刷不鮮明の箇所があつたら、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答には、必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
- 4 解答用紙の指定欄に、受験番号(表面 2 箇所、裏面 1 箇所)、科類、氏名を記入しなさい。指定欄以外にこれらを記入してはいけません。
- 5 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 6 解答用紙の解答欄に、関係のない文字、記号、符号などを記入してはいけません。また、解答用紙の欄外の余白には、何も書いてはいけません。
- 7 この問題冊子の余白は、計算用に使用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 8 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。



# 計算用紙

(切り離さないで用いよ。)

## 第 1 問

以下の問いに答えよ。

- (1)  $t$  を実数の定数とする。実数全体を定義域とする関数  $f(x)$  を

$$f(x) = -2x^2 + 8tx - 12x + t^3 - 17t^2 + 39t - 18$$

と定める。このとき、関数  $f(x)$  の最大値を  $t$  を用いて表せ。

- (2) (1) の「関数  $f(x)$  の最大値」を  $g(t)$  とする。 $t$  が  $t \geq -\frac{1}{\sqrt{2}}$  の範囲を動くとき、 $g(t)$  の最小値を求めよ。

# 計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

## 第 2 問

$a$  を自然数（すなわち 1 以上の整数）の定数とする。

白球と赤球があわせて 1 個以上入っている袋 U に対して、次の操作 (\*) を考える。

(\*) 袋 U から球を 1 個取り出し、

- (i) 取り出した球が白球のときは、袋 U の中身が白球  $a$  個、赤球 1 個となる  
ようにする。
- (ii) 取り出した球が赤球のときは、その球を袋 U へ戻すことなく、袋 U の  
中身はそのままにする。

はじめに袋 U の中に、白球が  $a+2$  個、赤球が 1 個入っているとする。この袋 U に  
対して操作 (\*) を繰り返し行う。

たとえば、1 回目の操作で白球が出たとすると、袋 U の中身は白球  $a$  個、赤球 1 個  
となり、さらに 2 回目の操作で赤球が出たとすると、袋 U の中身は白球  $a$  個のみと  
なる。

$n$  回目に取り出した球が赤球である確率を  $p_n$  とする。ただし、袋 U の中の個々の  
球の取り出される確率は等しいものとする。

- (1)  $p_1, p_2$  を求めよ。
- (2)  $n \geq 3$  に対して  $p_n$  を求めよ。

# 計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

### 第 3 問

座標平面の原点を O で表す。

線分  $y = \sqrt{3}x$  ( $0 \leq x \leq 2$ ) 上の点 P と、線分  $y = -\sqrt{3}x$  ( $-3 \leq x \leq 0$ ) 上の点 Q が、線分 OP と線分 OQ の長さの和が 6 となるように動く。このとき、線分 PQ の通過する領域を D とする。

- (1)  $s$  を  $-3 \leq s \leq 2$  をみたす実数とするとき、点  $(s, t)$  が D に入るような  $t$  の範囲を求めよ。
- (2) D を図示せよ。

# 計算用紙

(切り離さないで用いよ。)

## 第 4 問

$r$  を 0 以上の整数とし、数列  $\{a_n\}$  を次のように定める。

$$a_1 = r, \quad a_2 = r + 1, \quad a_{n+2} = a_{n+1}(a_n + 1) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

また、素数  $p$  を 1 つとり、 $a_n$  を  $p$  で割った余りを  $b_n$  とする。ただし、0 を  $p$  で割った余りは 0 とする。

- (1) 自然数  $n$  に対し、 $b_{n+2}$  は  $b_{n+1}(b_n + 1)$  を  $p$  で割った余りと一致することを示せ。
- (2)  $r = 2, p = 17$  の場合に、10 以下のすべての自然数  $n$  に対して、 $b_n$  を求めよ。
- (3) ある 2 つの相異なる自然数  $n, m$  に対して、

$$b_{n+1} = b_{m+1} > 0, \quad b_{n+2} = b_{m+2}$$

が成り立ったとする。このとき、 $b_n = b_m$  が成り立つことを示せ。

# 計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

## 計算用紙

(切り離さないで用いよ。)

# 計算用紙

(切り離さないで用いよ。)

## 計算用紙

(切り離さないで用いよ。)